

舗装台帳記入の手引き

令和3年4月

新潟市

目 次

1. はじめに	1
2. 『様式1』	2
2-1. 路線図.....	2
2-2. 施工年度工事名	2
2-3. 各項目の記入内容.....	3
3. 『様式2』	5
3-1. 路線図.....	5
3-2. 施工年度工事名	5
3-3. 各項目の記入内容.....	6
4. 「様式3」	7
4-1. 表題	7
4-2. 路線図.....	7
4-3. 路面性状値	7
5. 記録の保管	8

1. はじめに

舗装の維持管理においてメンテナンスサイクルを構築することは重要であり、点検・診断・措置・記録の「記録」の蓄積は、補修時期の決定や補修工法の選定はもとより、補修計画に反映するための貴重なデータとなる。

新潟市においては、道路新設時（既存道路の大規模改良含む）の情報を記入対象とした『様式1』、道路の維持補修工事（復旧工事、占用工事等で1車線10m以上の施工時含む）の情報を記入対象とした『様式2』、および路面性状結果情報を色分け記入した『様式3』の3種類があり、本手引きはこれらの舗装台帳の記入についてまとめたものである。

なお、舗装台帳「様式1」「様式2」は、新潟市が指定した重要路線を対象に整備されている。重要路線の適宜見直しにより、舗装台帳未整備の路線が重要路線に編成される場合には、すみやかに舗装台帳の整備を行うこと。

様式	内容	備考
様式1	新設時情報	・既存道路の大規模改良含む
様式2	維持修繕情報	・復旧工事、占用工事等で1車線10m以上の施工時含む
様式3	路面性状情報	・路面性状委託調査における路面性状色分け図

2. 『様式1』

様式 1		舗装台帳		所 轄	新潟市	中央区
令和元年度8月現在				路線名	113 一般国道 113号	
				整理番号	0113 - 11 - 1	(L=19,913m)
路線図	S=1/10,000					
		施工年度 工事名	改良工事 舗装工事			
施工業者		●●株式会社		●●建設		
施工延長		L=1,147m		L=874m		
施工幅員(車線)		14.0		14.0		
設計交通区分		C		C		
設計CBR		-		-		
舗装構成	磨耗層		6cm		6cm	
	表層		-		-	
	中間層		-		-	
	基層		5cm		5cm	
	KS 上層 部盤 改良 砕石		-		-	
下層路盤		22cm		22cm		
路床改良		-		-		
路床土質		-		-		
備 考						

2-1. 路線図

路線図は左側が路線の起点側、右側が路線の終点側とした配置とする。

2-2. 施工年度工事名

施工年度工事名欄には、改良工事もしくは舗装工事の工事設計書に記載されている工事名称を記入するものとする。なお、改良工事とは路床から上部の舗装を含む工事、舗装工事とは路盤から上部の舗装を含む工事を対象としている。

2-3. 各項目の記入内容

各項目における記入内容は表-1 に示すとおりである。

表-1 各項目の記入内容

項 目	内 容
施工業者	施工業者名（元請け）を記入。
施工延長	L=○○. ○m で記入。（少数第2位を四捨五入：0.1m 単位）
施工幅員（車線）	W=○○. ○m で記入。（少数第2位を四捨五入：0.1m 単位） 全幅車線の施工以外で、片側車線のみ施工や1方向に複数車線がある場合には、その区分を記入。 なお、幅員には中央帯、路肩幅は含まないものとする。
設計交通区分	表-2 の設計交通区分を記入。（N3、N4、N5、N6、N7）
設計 CBR	設計 CBR 値を記入。（3%、4%、6%、8%、12%、20%）
舗装構成	該当工種欄に材料名称、施工厚を記入。（1 cm単位） 摩耗層欄については、原則記入しない。 瀝青材料の記入については、アスファルト事前審査制度に定められたアスファルト混合物については表-3 の番号ならびに略名称にて記入するものとし、それ以外の材料については名称、最大粒径等を記入する。 （ポーラス As 混合物(13)、SMA(20)等）
路床改良	路床改良の有無を記入。有りの場合は工法名および施工厚を記入。 （セメント安定処理、石灰安定処理、等） 構築路床の場合は盛土（置換え）材料名称を記入。
路床土質	該当箇所での代表的な土質を記入。（礫混り土、砂、砂質土、粘性土 等）
備考	上記以外の情報がある場合に記入。（地下水位高 等）

表-2 設計交通区分

設計交通区分	大型車交通量(台/日・方向)
N7	$3,000 \leq T$
N6	$1,000 \leq T < 3,000$
N5	$250 \leq T < 1,000$
N4	$100 \leq T < 250$
N3	$T < 100$

表-3 アスファルト混合物名称一覧

番号	アスファルト混合物正式名称	記入用略名称
①	瀝青安定処理(25)	As 安定(25)
②	粗粒度アスコン(20)	粗粒(20)
⑤	密粒度アスコン(新 20FH)	密粒(新 20FH)
⑥	密粒度アスコン(新 20FH)改質Ⅱ型	密粒(新 20FH)Ⅱ
⑦	密粒度アスコン(新 20FH)改質Ⅰ型	密粒(新 20FH)Ⅰ
⑧	密粒度アスコン(13)	密粒(13)
⑨	密粒度アスコン(13F)	密粒(13F)
⑪	密粒度アスコン(13FH)改質Ⅱ型	密粒(13FH)Ⅱ
⑫	密粒度アスコン(13FH)改質Ⅰ型	密粒(13FH)Ⅰ
⑬	細粒度アスコン(5F)	細粒(5F)

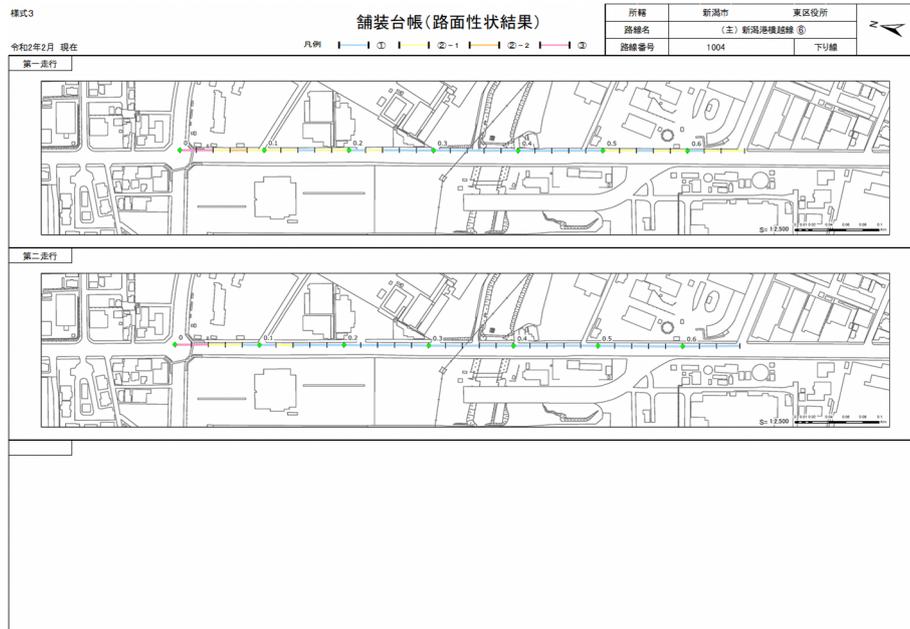
3-3. 各項目の記入内容

各項目における記入内容は表-4 に示すとおりである。

表-4 各項目の記入内容

項 目		内 容
舗装構成		新設時の舗装構成を記入。
設計交通区分		新設時の設計交通区分もしくは補修時の設計交通区分を記入。 表-2 の設計交通区分を記入。(N3、N4、N5、N6、N7)
設計 CBR		新設時もしくは補修時に路床強度を確認した場合に、その設計 CBR 値を記入。(3%、4%、6%、8%、12%、20%)
補修履歴	補修年度	補修年度の年号をアルファベットで記入。(R〇〇)
	工法、延長	補修工法を記入。(オーバーレイ：OL、切削オーバーレイ：切削 OL、打換 等) 延長を L=〇〇. 〇m、幅員を W=〇〇. 〇m で記入。(少数第 2 位を四捨五入：0.1m 単位) (全幅車線の施工以外で、片側車線のみ施工や 1 方向に複数車線がある場合には、その区分を記入)
	補修断面	材料名称、施工厚を記入。(切削 OL の場合は切削厚も記入する)
	施工業者	施工業者名を記入。
施工業者		施工業者名 (元請け) を記入。
備考		上記以外の情報がある場合に記入。 (クラック防止シート使用 等)

4. 「様式3」



4-1. 表 題

様式の右上に表題を記入する。表題の内容は、「所管」「路線名」「路線番号」「車線」「方位」とする。

4-2. 路線図

路線図は左側が路線の起点側、右側が路線の終点側とした配置とし、路線図の縮尺は1/2,500程度とし、路線図の右下にスケールを付図する。なお、片側複数車線の場合、上から「第一走行」「第二走行」「第三走行」とする。

4-3. 路面性状値

様式3の舗装台帳(路面性状結果)は、路面性状値における「ひび割れ率」を対象とし、路面性状調査単位区間長(標準20m)ごとに表-5に示す区分で色分け表記する。

表-5 様式3の凡例内容

路面性状結果 (ひび割れ率区分)	①	②-1	②-2	③
色分け	青	黄	橙	桃
ひび割れ率(%)	0~20 程度	20~30 程度	30~40 程度	40 程度以上

5. 記録の保管

「様式1」および「様式2」については、各建設課維持係において施工終了時に必要項目を記入し、年度末に土木総務課に提出するものとする。収集した情報に基づき様式の更新および「路面性状結果一覧」の該当修繕箇所の路面性状値の更新を行うものとする。

委託業務にて路面性状を計測した場合は、成果品として「様式3」の作成を加えることが望ましい。